

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」 大阪人間科学大学 実施報告書



実施主体 社会福祉学科 A:「青少年問題と福祉」受講者の有志(40人)
B:社会福祉学科の3年次金澤ゼミ学生(6人)

実施内容 A: オレンジリボンを「大切な人」に手渡して説明しました。
B: 「ユニークなオレンジリボン運動」を実施し、ゼミで発表しました。

①事前に取り組んだ内容

A:「児童虐待」「オレンジリボン運動」について学び、オレンジリボンを作成しました。
B:児童虐待と非行問題の関係について、文献を輪読しました。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

A:作成したオレンジリボンを「大切な人」に説明し、「手渡す」という活動を行いました。
B:「ユニークなオレンジリボン運動」を実施し、ゼミで取り組み結果を発表しました。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

A: オレンジリボンを手渡して

●母に渡したときは「何これ？」という反応だったが、私が説明すると理解してくれ、近所や勤務先の人にも広めておくとってくれた。言ってよかったと思った。

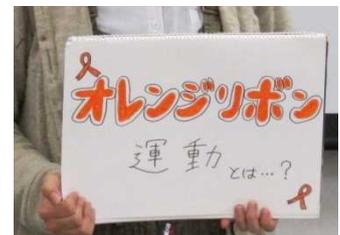
●妊娠中の姉に渡しました。姉は、「私も気をつけるわ」と言いながらお腹をさすっていました。私は虐待防止のために、姉のサポートをしていきたいと思っています。

●高校生の弟に渡した。弟が学校で虐待に気づいた時、すぐに動けるように、とオレンジリボンと児童相談所の電話番号の入ったカードを渡した。弟はいくつか質問をしてくれたのが嬉しかった。

B: ユニークな「オレンジリボン運動」を考えて

★保育士、会社員、学生の3人にオレンジリボンについて話し、立場の違いによる受け止め方の違いがあるかどうかを考えました。→保育・福祉関係ではオレンジリボンについて知る機会がある反面、分野について学んだことのない人たちには知られていないと感じた。

★紙芝居を作って、オレンジリボン運動を説明しました。→紙芝居を作るのは難しいなと感じた。みんな意外と聞いてくれるんだなと感じた。



★友達にオレンジリボンを説明し、一緒にオレンジリボン運動の広め方のアイデアを考えました。→虐待について、一般市民には誤解や知られていないことがたくさんある。そこで、間違った情報が流れがちなテレビを逆手にとって、人気アニメを使って虐待防止のストーリーと虐待をしてはいけないというストーリーを作るというアイデアがうまれた。